

屋外木部用・高性能木材保護塗料／油性

キシラデコール®

キシラデコール



飛騨高山の町並み(岐阜県) キシラデコール使用



16L/0.7L/4L缶



木材保護塗料部門
17年連続 1位
業者を対象に、建材・設備メーカーの
製品採用意向等をアンケート調査
2022年11月24日号



木材保護塗料
メーカーシェアNo.1
キシラデコールシリーズ
※ペイント&コーティングジャーナル
2020年調査

50年以上の実績が語る プロが認めた仕上がりと耐久性

キシラデコールの特長

- ①木目を生かした自然な仕上がり
- ②色持ちの良い優れた耐候性
- ③木部に浸透し、内部から防腐・防カビ・防虫効果※を発揮
- ④塗りやすく、抜群の作業性

※防虫の対象はヒラタキクイムシなどの木材害虫です。シロアリ、アリ、ハチなどは対象外です。
※立地条件や周辺環境、建物の構造などにより、早期で塗装面の退色・変色などが起こり、木材害虫、木材腐朽菌などによる汚染、加害を生じる場合があります。効果を保証するものではありません。

- 木材保護塗料塗り(WP) JASS18 M-307
木材保護塗料(かび抵抗性を含む)適合品
- (一社)日本建築学会「建築工事標準仕様書」
 - 国土交通省「公共建築工事標準仕様書」
 - 国土交通省「公共建築改修工事標準仕様書」
 - 国土交通省「公共建築木造工事標準仕様書」

キシラデコールのカラーバリエーション



この色見本は印刷物ですので、実際の色とは多少異なります。塗装見本でご確認ください。

#120 やすらぎ
※顔料を含むため
完全なクリアーではありません。
#101 カラレス
(下塗り専用)

標準塗装仕様

工程	塗装材料	作業	塗り重ね乾燥時間	摘要
素地・下地調整	サンドペーパー、 ブラシ、ポロ布	新しい木材 ●ゴミ・ほこりなどを除去、清掃。		●木材含水率18%以下 ●スチールブラシ不可
	ラッカーシンナー、 アルコール	ヤニや油分の多い木材 ●表面のヤニや油分の拭き取り。		
	サンドペーパー、 皮スキ、漂白剤、 塗膜剥離剤、 低圧・高圧洗浄	塗り替え ●キシラデコール塗装面の場合、表面のゴミ・汚れ・変色・せい弱層を除去、清掃。 ●他の塗料塗装面の場合、旧塗膜があれば完全に除去し、清掃。		
下塗り・上塗り	キシラデコール #102～#116、 #120	攪拌 ●キシラデコールの顔料が沈降するため、十分な攪拌が必要。 ハケ塗り ●吸い込ませるように2～3回塗り。スプレー塗装不可。 ●標準使用量(2～3回塗りの合計量)0.15～0.20L/m ² (5～7m ² /L)	12時間以上 (気温20℃、湿度65%、 木材含水率18%)	●乾燥は通常24時間、 低温・多湿時は3日以上

- ①カラレス(#101)は有色仕上げ時(#120やすらぎ除く)の着色ムラ防止に下塗り剤としてご使用ください。
ただし、樹種(針葉樹、広葉樹など)によっては着色が薄くなる場合がありますので、必ず試し塗りにより仕上がりをご確認ください。
標準使用量0.05～0.10L/m²(10～20m²/L)(1回塗り)、キシラデコールを上塗りするための塗り重ね乾燥時間2～6時間。
- ②上記標準使用量は、被塗材の種類(新材・古材)、樹種(針葉樹、広葉樹など)、塗装面、含水率、材のひび割れなどで異なる場合があります。
- ③以下の場合には乾燥遅延を起こすことがありますので、ご注意ください。湿度が高い場合、低温の場合、塗布量が多すぎる場合、下塗りが未乾燥のうちに重ね塗した場合、塗料が浸透しにくい木材に塗装した場合、換気が不十分な場合。
乾燥が不十分な場合には、降雨などによって塗料が流れ落ちる可能性がありますのでご注意ください。塗装後未乾燥のうちに降雨が予想される場合は、塗装箇所に応じた適切な養生をしてください。
- ④公共建築工事標準仕様「木材保護塗料塗り(WP)」で使用する場合は、キシラデコールの容量(L)に比重を掛け、重量(kg)換算してください。例：16L(缶)×0.85(平均重量)＝13.6kg(比重は色によって若干異なります)

■ 木材保護塗料塗り(WP)の工程 「公共建築工事標準仕様書」「公共建築改修工事標準仕様書」より抜粋
木材保護塗料塗りは下記表により、種別は特記による。特記がなければB種とする。

工程	種別 ^{[注]1}		塗料・その他		塗付け量 (kg/m ²)
	A種	B種	規格番号	規格名称	
1		●	公共建築工事標準仕様書の素地ごしらえによる 公共建築改修工事標準仕様書の素地ごしらえ・下地調整による		-
2	●	●	JASS 18 M-307 ^{[注]2}	木材保護塗料	0.10(0.06) ^{[注]3}
3	●	●	JASS 18 M-307 ^{[注]2}	木材保護塗料	0.06(0.06) ^{[注]3}
4	●	-	JASS 18 M-307 ^{[注]2}	木材保護塗料	0.06(0.04) ^{[注]3}

- [注]1. ●：実施する工程作業 -：実施しない
2. JASS 18 M-307は、日本建築学会材料規格である。
3. 塗付け量は既設木材を対象とする。塗装対象が新設木材の場合は、塗付け量を()内とする。



・ご使用の際は、製品缶およびカタログ、SDS、ホームページに記載の注意事項などをよくお読みください。

製造販売：

みつける、こたえる、かなえる ケミカル
大阪ガスケミカル株式会社

0120-124-123 平日9:00～17:30
(土日祝日・その他当社休業日を除く)

FAX 06-4393-0054 ホームページ <https://www.xyladecor.jp/>

〒550-0023 大阪市西区千代崎三丁目南2番37号 ドームシティガスビル

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目6番1号 日本橋本町プラザビル4階



提携先：AkzoNobel キシラデコールはAkzoNobel社の登録商標です。